



おぐら倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和5年1月24日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

大雪に関する生徒の安全確保について

九州北部地方では、24日(火)夕方から25日(水)にかけて上空約1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となる見込みです。このため、北九州地方では24日夜の夜のはじめ頃から25日にかけて、警報級の大雪となるおそれがあります。福岡管区气象台及び北九州市危機管理からの情報提供によると、

- 24日(火)午後から気温が氷点下になり、断続的に雪が降る恐れがある。ピークは24日(火)の夜のはじめから25日(水)の朝にかけてで、26日(木)には寒気が通り抜ける。
- 24日(火)6時から25日(水)6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多いところで、山地20～40センチ 平地10～20センチ
- 雪を伴った暴風に警戒。また、降雪や路面凍結による交通障害、雪による視程障害、低温による水道管の凍結、電線や樹木等への着雪に注意。

このような状況で、①児童生徒の登下校時の安全確保が難しいこと、②交通機関の混乱が想定されるため、職員の通勤や給食物資の搬入に遅延等が想定されることから、

明日1月25日(水)は、全市一斉休校とします(市教委通知)。

- 1月26日(木)については、通常通りの登校を考えています。
- 本日24日(火)の対応については、5校時後下校、部活動は中止とします(暗くなってからの下校が危険な恐れがあるため)。
- ご家庭でも、今後の気象情報に注意するとともに、お子様の安全確保について、適切な指導をお願いいたします。

1. 登校時に降雪が予想される場合は、早めに家を出る準備をしましょう。
2. 降雪や道路の凍結が予想される場合は、自転車を使用しないようにしましょう。
3. 両手が自由に使えるようなるべく手に物を持たないようにしましょう。
4. 歩道を歩き、車に十分気を付けましょう。
5. 屋根の雪の落下や、降雪で見えなくなっている側溝に注意しましょう。
6. 坂道の多い場所では、あわてずゆっくり登校しましょう。
7. 特色化選抜入試を受検する人は、必ず受検先のHPを確認しましょう。



※公立高校特色化選抜入試について

- ① 特色化選抜及び帰国生徒等特別学力検査の実施日を変更する場合
➔ 志願先高校のホームページにおいて、1月24日(火)17時までに、実施日の変更について掲載します。(変更を行わず予定どおり実施する場合もその旨掲載します)
- ② 特色化選抜及び帰国生徒等特別学力検査の時間繰り下げについて
➔ 志願先高校のホームページにおいて、特色化選抜及び帰国生徒等特別学力検査の実施日(実施日を変更した場合は、変更後の実施日)の午前7時までに時間繰り下げについて掲載します。(時間繰り下げを行わず予定どおり実施する場合もその旨掲載します)
- ③ その他
➔ ホームページにおいて変更内容等が掲載された後も、天候の状況によって再度変更が行われる場合があるので、随時志願先高校のホームページを確認してください。
➔ 北九州市教育委員会から入試についての連絡が入った場合は、受検生徒にっせいでメールまたは電話で連絡します。

歩行者の雪道での事故(参考:首相官邸HP)

○ 歩行者の雪道事故はどのような時に発生するのか

～歩行時の転倒にも注意！滑りやすい場所を知りましょう～
冬期間は豪雪地帯に限らず、雪が少ない地域でも、積雪・凍結を原因とする転倒災害が多く発生しています。転倒災害件数は、降雪量にほぼ比例しており、例年1～3月に集中して発生しています。事故が多く発生している滑りやすい場所を確認しておきましょう。

- 横断歩道の白線の上
乾いているように見えても薄い氷膜ができて、滑りやすくなっている場合があります。
- 車の出入りのある歩道(駐車場の出入口、ガソリンスタンドなど)
出入りする車のタイヤで路面上の氷が磨かれ、非常に滑りやすくなっている場合があります。
- バスやタクシーの乗り場
踏み固められて滑りやすくなっている場合があります。また、歩道と車道との段差にも注意。
- 坂道
上りよりも下るときの方が滑って転びやすく危険です。下るときは特に注意しましょう。
- ロードヒーティングの切れ目
雪や氷が融けておらず段差ができて、部分的に滑りやすい状態になっていることがあります。

○ 雪道を安全に歩くポイント

- ～転びにくい上手な歩き方を知りましょう！～
- 小さな歩幅で歩きましょう
歩幅を小さくし、そろそろと歩く「ペンギン歩き」が基本です。
 - 靴の裏全体を路面に付けて歩きましょう
体の重心をやや前におき、できるだけ靴の裏全体を路面につける気持ちで歩きましょう。また、履物は靴底が滑りにくいものを選びましょう。(摩擦係数の高いゴム長靴等)
 - その他
転んだときのために、帽子や手袋をするなど、身に付ける物の工夫も安全対策の一つです。両手をポケットに入れて歩いたり、飲酒時もバランス感覚が鈍り危険です。また、屋根の上の雪や氷が落ちてくる場合がありますので、屋根にも目を配り歩きましょう。特に、暖かい日は要注意。

